



ぬくもりの手と手をつなぐ中丸地区

# 中丸地区社協だより

第16号

平成26年8月発行

発行元 中丸地区社会福祉協議会

発行元住所 〒319-1114

東海村須和間345 中丸コミュニティセンター内

電話029-287-3158

## ごあいさつ (中丸地区社協会長 笠原 武士)

立秋が過ぎてもまだまだ毎日暑い日が続いている今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。日頃より、本会事業の推進につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、去る4月26日の総会で本年度をスタートすることができました。本年度は、昨年の組織改正を生かして、各地区関連部会及び事業部会とも活発に活動を開始しております。また、これまでに開催した「中丸カフェ（旧称：これからの地域福祉活動を考える会）」で出された意見を参考に地区社協活動に気軽に参加していただけるよう事業を公募した結果、新たに「障がい児・者支援事業部会」が発足し勉強会を開始しております。

地区社協活動は自治会への加入に関わらず「どなたでも」事業や活動に参加できます。昨年度に引き続き今年度も、事業公募をしていますので、皆さまの積極的な御参加をおまちしています。

「無縁社会」を解消し、「困ったときはお互いさま」と手を差し伸べられる地域づくりに向けた活動を通して少しでも地域福祉の向上を図っていきたくと考えていますので、皆さまのご協力及びご指導・ご鞭撻をいただきたく、よろしくお願いいたします。



## 平成26年度中丸地区社協総会開かれる

4月26日、中丸地区社協総会が中丸コミュニティセンターにおいて開催されました。

当日は、村社協の黒羽根会長・中丸地区根本自治会長をはじめ、各区自治会長・地区自治会正副部会長の来賓いただくなど、60人近くの参加がありました。

冒頭笠原会長からの「継続的な活動に向けて、今年度も事業公募などを実施していきたい」との挨拶に引き続き、来賓のご挨拶をいただいた後、緑ヶ丘区の大串氏が議長として指名され審議に入りました。審議では、前年度の事業報告・決算報告や本年度の事業案や予算案についての提案があり、活発な質疑応答の後全会一致で承認され無事終了しました。



中丸地区社協について、ご意見・ご要望がありましたら、中丸コミュニティセンター内事務局までご連絡ください。

福祉活動に関心のある方、ボランティア活動をしてみたいと考えておられる方の参加をお待ちしておりますので、気軽にお声がけください。

中丸地区社協事務局  
中丸コミュニティセンター内  
担当 高萩  
電話・FAX 287-3158



# 各 部 会 からの メ ッ セ ー ジ

## 押延区部会 **楽しく交流を継続し、支え合うことを目指して** (部会長 本多 千枝)

部会活動として「おしのベサロン」がスタートして早くも2年半が経過しました。このサロンでは、高齢化が進む中で、みんなが楽しく交流を継続し支え合える関係を築くことを基本にしながら、レクリエーションやおしゃべりを楽しんでいます。この7月には少し早い七夕まつりをしました。折り紙で作った人形や飾り、願い事を書いた短冊をそれぞれ笹に飾りつけると、何か懐かしさを感じました。昼食はふれあい協力員が用意したソーメンや野菜などのほかに、参加者から天ぷらや鶏のから揚げ・漬物・黒豆などの差し入れがあり、テーブルにはたくさんのご馳走が並びました。

見守り活動では、75歳以上の一人暮らし高齢者や85歳以上高齢者の誕生月に自治会と連携して鉢花を届け喜んでいただいています。

運営面での課題もありますが、参加者からの「サロンがない月はさびしいね」という言葉に励まされて活動しています。



▲みんなで作った七夕飾り

## 須和間区部会 **無理なく楽しく活動中!** (部会長 松本 友香子)

須和間区では、ふれあい協力員を自治会の各班から当番制で選出していますので、毎年ほぼ交代しながらの活動となっています。今年度は、26人の会員で高齢者の見守りや自治会行事への参加・協力等の活動をしています。

5月には80歳以上の高齢者46人の在宅訪問をし、手作り弁当を届けました。高齢者には大変好評いただき、毎年楽しみにしてくださっている方が多いです。訪問時には体調を伺ったり、世間話に花が咲いたりして、とても良いふれあいの機会となりました。このほかの活動として、集会所の清掃や神社のまつり・コミセンまつり参加・ふれあい敬老会開催があります。

行事は決して多くありませんが、世代間の交流や地域でのふれあい・会員同士のつながりができ、無理なく楽しく活動しています。



▲おいしいお弁当を届けました

## 南台区部会 **ざっくばらんに話し合える環境づくりを大切に** (部会長 道口 典子)

南台区は団塊世代が中心の団地で、高齢化の勢いが止まりません。「若い人たちにバトンタッチをして明るい老後の南台を」と夢見っていますが、子ども世代の多くが地元を離れている中では叶いそうにもありません。“自分たちのことは自分たちで”を肝に銘じ、今年度もメンバー同士の活発な意見交換の中で新味を加えた活動を計画しました。

7月には、老後生き生きするためには身体が資本ということで“南台区ふれあい協力員研修”を開催し、「いばらき診療所」の先生から、中高年の骨折予防やかかりつけ医療機関の大切さについてお話を伺いました。8月の“ふれあいカフェ南台”は、カレーを作り、夏休み子どもたちが参加できる企画を考えました。

これからも“仲間がいるから何でもできる”を合言葉に、みんながざっくばらんに話し合える雰囲気大切に、積み重ねてきた経験を生かした活動を継続していきたいと考えています。



▲中高年の骨折予防研修

## 舟石川中丸区部会 **今年度の活動状況について** (部会長 石田 正久)

当地区での活動は、ここ数年行っている行事を踏襲する形が定着してきています。「ふれあい会」と称する月1回開催の食事会には、引きこもりがちな一人暮らし高齢者をお誘いしています。昼食前1時間ほど、村のシルバーリハビリ体操指導士による健康体操で体をほぐし、「NPO法人楽々茶の間」で用意していただいた弁当を取り寄せ、楽しい食事のひとつを過ごした後、ハーモニカの上手なメンバーの伴奏で全員による合唱でさらに和気あいのうちに終了といった具合です。(食事会にお招きする人：10数人が目下7~8人)

6月には「世代間交流会」を開催しましたが、世代間交流を図るタネが難しく、今年も調理実習になりました。調理が主体なので男性の参加が少ない点が残念ですが、約40人の参加者は“パン作り”を楽しんでいました。次回からは男性も参加できるよう誘い方を工夫して皆で楽しみたいと思っています。

たまの出会いなのでおっくうがらずに出会いの場を増やし、楽しいおしゃべりで皆さんを元気にする努力を続けていきたいと思っています。



▲パン作りに挑戦!

## 緑ヶ丘部会 **誕生から3年経過し、新たな取り組みへ** (部会長 佐久間 博)

部会誕生から3年目となった今年度の活動の特徴は、昨年度までの行事を継続することはもちろんですが、「集会所において」に講座を導入したことです。東海村まちづくり出前講座3回、いばらき診療所の医師による講座1回の計4講座です。講座テーマは、なるべく幅広い年齢層をカバーするように気を遣う中で、子供たちの興味をそそるもの・高齢者の健康に関するものなど多岐にわたっています。開催の広報手段は高齢者クラブ「白梅会」が全戸回覧する月別行事計画への掲載、部会員の手による各戸投かんなどです。

当部会のメンバーは7月現在で17人ですが、既存の団体のご協力を仰ぐことで、幅広い年代からの参加を得るとともに、部会の認知度を高めるなどチームワーク良く活動しています。

自治会会員の高齢化を理由に行事が削減される傾向がある昨今、人とのつながりを維持するためにも我々の活動は欠かせないものと考えております。



▲「目指せ!賢い消費者」講座

## 子育て支援事業部会 **子育て中のママ&パパ!お待ちしております~** (部会長 鈴木 朝美)

今年度も、「赤ちゃんとママのキラキラサロン」は年8回、「ベビーマッサージ」は年3回実施する予定でスタートしています。

地域に住む赤ちゃん大好きおばさんたちと、子育て中のママとパパとの交流を目的に、毎回、さまざまな内容で楽しんでいます。

これからの開催日は、キラキラサロン：9/8・10/20・11/17・12/15(いずれも月曜日)、ベビーマッサージ：10/5(日)となっています。回覧でもお知らせしますので、ぜひ遊びに来てください。また、お手伝いして下さるスタッフも募集していますので、こちらもよろしくお願いします。



▲ママと一緒にハイポーズ!



▲紙芝居楽しいね!

## 障がい児者支援事業部会 **新しい出会いが広がっていくような活動に向けて** (部会長 埴 順子)

来年度からのささやかな活動に向けて、4人のメンバーで現在作戦会議中です。その会議でさまざまな話をしていく中で、学童期のお子さんを持つお母さんから、「登下校中に、会えばいつも声をかけてくださる方がいて親としては本当にうれしい!小さいころから地域の人に知ってもらえることで安心する」「子育てと介護は似ているところがあると思う。いろいろな立場で頑張っている人の話も聞いてみたいな~」など、活動のヒントになる話をたくさん聞くことができました。誰かが「こんな場所があったら行くのに」と思うのであれば、同じように感じている人は必ずいるはずですよ。

中丸地区にもいろいろなコミュニティができ、それぞれ特徴のある楽しい居場所がもっと増えることで、新しい出会いが広がっていくような活動の準備をしていきたいと思っています。



## 各いきいき・サロンからのメッセージ



### ふれあいいきいきサロン「酔芙蓉の会」

(代表 鈴木 ふき子)

区の集会所がなく、自宅開放で始まったサロンが誕生したのは11年前の8月でした。細々ながらも続いているのは、無理しない・他人の中傷をしないなど、会員の一人ひとりが会を楽しく盛り上げているところにあると思います。

6月にはイギリス留学時に教わったという広瀬さんに「おいしい紅茶の入れ方」を指導していただき、居ながらにして本場のイギリスの味に触れ、リッチな気分になりました。7月はおしゃべり会ですが、梅雨が明けた直後でこれから猛暑に向かい、タイムリーに暑さ対策の工夫など話し合いました。冷やしたジェル枕で安眠とか梅酢ドリンクで熱中症予防など。9月以降は「草とり」や若い人も交えた「手作り会食」等を予定しています。

これからも時には若い世代との交流を取り入れながら、暮らしに密着した内容で楽しい会にしていきたいと考えています。



▲おいしい紅茶入りました！

### ふれあいいきいきサロン「中丸春秋会」

(代表 酒寄 芳治)

先般、メンバーの鈴木ふき子さんが厚生労働大臣特別表彰、石川寛さんと花見美知子さんが東海村表彰を受けました。当サロンでもささやかながら、みんなで御三方の受賞祝いをしました。それぞれ、地域福祉やスポーツ振興に貢献した実績を評価されたもので、今後もさらなるご活躍を。

当サロンは、これまで月2回5卓で健康マージャンを楽しんできましたが、会場が飽和状態であり、また参加希望者も多いため、このたび、姉妹サロンとして「ジャンカフェ輝<sup>かがやき</sup>」を立ち上げ毎月第2木曜日に活動開始することにしました。スタッフも女性中心で、食文化とのコラボレーションなど楽しいサロンを期待！

地域の皆さん、当サロンに気軽に立ち寄ってください。毎週木曜日は舟石川中丸集会所がアツイ！



▲受賞おめでとうございます

### ふれあい・いきいきサロン「笑遊会」

(代表 佐久間 博)

毎週木曜日の午後1時～6時と毎月第2火曜日の午前9時～午後6時に緑ヶ丘集会所で開催されるのが、緑ヶ丘部会のサロン「笑遊会」の健康マージャンです。昔は“亡国のゲーム”と言われたマージャンも、健康という字の冠を被れば今や公認のゲームです。

参加者数は平均10人前後、ゲームからあふれた人は流局以外のゲーム終了で参加できますので、待ち時間は数分間です。今年度からは年間表彰規定を設けました。成績優秀者はもちろん、前年度の総得点がマイナスの会員でも点数が20%以上向上すれば進歩賞がもらえます。

この会の良さは駄洒落が飛び交う雰囲気にあります。口も手も頭脳も精一杯使って楽しんでいます。



▲指先の訓練も兼ねて